

## 「おおむね」という行政用語

一昨年だったか北茨城市役所で、飼料米栽培に対する助成制度についての説明会がありました。東京から農水省の課長補佐サンとやらがみえて講演。そのなかで、飼料米の収量として「おおむね8割」は期待したいと言っていました。そして続けるの解説が興味深かった...

「行政において“おおむね”とは約8割のことを意味しています。したがって“おおむね8割”といえは  $0.8 \times 0.8 = 0.64$ 。つまり通常の6割ほどの収量ということになります」ふ〜ん。

\*

おととい朝、うちのチビ(高3)が、新聞を見て絶句していました。



「原発が、おおむね安全って!?!」

\*

いまインターネットで、こんな小咄がはやっています。笑えないけど。

「防波堤は？」

「来年から着工します」

「免震重要棟は？」



里のギャラリー 198

「3年後に建てます」

「電源車は？」

「どこに置くか決めてません！」

「フィルター付きベント装置は？」

「それも3年後です」

「避難計画は？」

「できてません！」

「で、再稼働は？」

「します！します！直ちにします！」

## 東電に地代の値上げを通告

放射能を散らかしたままの東電にメールで問い合わせをしました。

田んぼの土手など、うちの所有地に御社の電柱は何本立っていますか。貸借契約は、どうなっていますか？

翌日、電話が入りました。

5本です。契約は来年の3月までです。

そうですか。

たとえば交通事故を起こしたとき、加害者は被害者にお見舞いをもってお詫びにいきますよね。そして賠償交渉も、加害者側の保険屋が足を運んでするものだ。

ところが御社は、そういう常識は持ち合わせていないようですね。被害者ひとり一人を訪ねてお詫びしてまわるべきではありませんか。まる

で知らんぷり。社会的に、まともな存在なのでしょう。

というのが私の気持ちです。

ところで御社は、この4月1日から業務用の電気料金を値上げすると通告したんですよね。しかも、契約更新までは値段は上げられないことを知らせずに、一方的に4月から上げるつもりだったとか。

そんな御社にならって、うちでも電柱の地代の値上げを通告します。電気料金の値上げは17%でしたっけ。それは平均だそうですね。最高は何%だったんですか。とりあえず、その最高額と同じ割合だけ4月1日から値上げします。

どうぞ上司と検討して「それは何%です。了解しました」という返答



を早急にください。よろしく。もちろん来年の契約更新時には、貸借拒否も含めて改めて対応を考えさせていただきます。

という電話から一週間。日立営業所のKmgさんからは、まだ応諾の電話は入っていません。